

令和三年三月十日開会

令和三年度池田町一般会計予算、特別会計予算

並びに企業会計予算提案説明要旨

令和三年度の町政に取り組む施政方針及び一般会計・特別会計並びに企業会計についてご説明申し上げます。

令和元年度から続く世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大によって、日本においては緊急事態宣言に伴い「東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック」や岐阜県で初の開催予定であった「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」の延期、本町においても、イベント開催の自粛要請及び学校休業などを余儀なくされ、地域経済は厳しさを増しています。また、町民の生活もウイルス感染への不安や日常活動の制限などから精神的負担も増大しています。先行きが見通せない状況ではありますが、現在準備を進めておりますワクチン接種に万全を期すとともに、引き続きコロナの収束、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現、地域デジタル社会の推進、防災・減災、国土強靱化の推進の実施など切れ目のない対策を迅速に行ってまいります。

こうした中、本町においては人口減少が深刻化しており、それに付随する町の機能低下が懸念されています。人口の減少は、町の活力を失うことにも繋がりがねないため、今後は人口が減少しても、町の機能を維持し、活力を損なわない、持続可能な地域社会を構築することが求められます。

令和三年度においては、町の将来像「ぬくもりあふれるまち 池田町 くふれあいが未来を育む、人と人がつながり合い成長する都市へ」の実現を目指す、第六次総合計画の二年目となる年です。厳しい財政状況の中、長期的な視点を持ちつつ、SDGs（持続可能な開発目標）を取り入れながら喫緊の課題にも対応し、公共交通網の整備や公共施設の老朽化対策・適正配置など、町の活性化に資する事業を積極的に展開していく方針です。

なお、町全体としまして、総合計画の5つの基本理念「未来（子育て支援や教育の充実）」「元気（適切な医療体制の提供や福祉の充実）」「活気（地域の活性化のための観光振興やスポーツ振興等）」「快適（安心安全の暮らしに欠かすことのできない防災対策やインフラ整備）」「経営（住民と協働し、明確で無駄のない財政運営）」を念頭に置き、よりよいまちづくりを進めてまいりますので、議会におかれましてもご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、本町の令和三年度予算規模についてですが、

一般会計	八十八億二千三百万円
国民健康保険特別会計	二十二億 二百万円
後期高齢者医療事業特別会計	三億 円
農業集落排水事業特別会計	三億九千六百万円
公共下水道事業特別会計	七億五千七百万円
温泉施設特別会計	二億四千二百万円
小水力発電事業特別会計	八百万円

で、総額百二十七億二千八百万円の前年度対比七億四千二百万円（五・五％）減の予算といたしました。それでは、町の重要施策と予算の概要についてご説明申し上げます。初めに一般会計についてご説明申し上げます。

歳入について、町税のうち町民税につきましては、コロナの影響により個人所得の減少に加え、法人収益の減少により、個人及び法人分で減少が見込まれ、固定資産税についても家屋の評価見直しによる減価及びコロナの影響により収入の減った事業者に対する軽減措置などにより減収が見込まれ、町税全体では

前年対比で二・四％減の二十八億五千二百八十四万六千円を計上しました。

地方交付税につきましては、国における地方財政計画の増減率及び前年度実績を勘案し、普通交付税については前年度対比六・三％増の十七億円、特別交付税については前年度と同額の一億六百万円を計上しました。

寄附金につきましては、前年度対比〇・七％増の四億六百三十三万八千円を計上しました。そのうち、ふるさと納税につきましては前年度と同額の四億円を見込んでいます。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金で二億円、ふるさと支援まちづくり基金繰入金で六千万円を計上しました。

町債につきましては、デジタル同報無線戸別受信機整備完了に伴い事業債が減少することにより、前年度対比十九・二％減の七億一千二百九十万円を計上しました。

それでは、歳出について申し上げます。

総務部において、総務および消防防災関係では、庁舎受変電設備及び空調設備改修等工事設計委託業務などや小型動力ポンプ二台及び積載車三台を購入し、地域の防災力向上に努めます。これらに関する予算として八億六千六百九十七万三千円を計上しました。

公共交通関係では、新たにタクシー利用助成事業を行ってまいります。運転免許証を所持していない高齢者や同じく十八歳以上の障がい者を対象とし、経済的負担の軽減や社会参加を促すことを目的に実施してまいります。コミュニティバスの運行は今までのとおり無料を継続し利用者が選択できるようにしてまいります。そのほかに一般社団法人養老線管理機構に対する負担金や養老線利用促進事業によるマイルールチケット21の助成制度についても引き続き行ってまいります。地方創生事業については、地方創生推

進交付金が活用できるよう、まちづくり事業や移住定住事業など複合的に取り組んでまいります。ふるさと納税につきましてもは町のPR、産業の活性化、貴重な財源の確保として積極的に取り組んでまいります。これらに関する予算として六億六千七百二十千円を計上しました。

税務関係では、町税等賦課事務電算業務委託事業及び土地家屋の現況調査委託事業に一千六百六十三万円、土地評価事業及び航空写真撮影事業に九百四十三万八千円を計上しました。

次に民生部において、戸籍住民関係では、戸籍・住民記録・印鑑の届出や証明書の発行、個人番号カードの交付、住民基本台帳ネットワークシステムの運用など、これらに関する予算として五千五百五十六万五千円を計上しました。

環境関係では、改定した一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみ処理等環境施策を進めてまいります。北部と南部のリサイクルセンターでは、四月より新たに廃食用油の受け入れを実施し、両施設を拠点としたごみの減量化と資源化を一層進めてまいります。池田町斎苑の解体撤去工事請負費九千三百八十八万二千円を含め、これらに関する予算として四億六千三百三十七万八千円を計上しました。

社会福祉関係では、障がい者の介護支援や就労支援を行う自立支援給付事業、障がい児の発達支援や放課後等デイサービス事業を行う障害児福祉サービス事業、十八歳以下の子どもや重度心身障害者等の医療費を負担する福祉医療扶助事業など、これらに関する予算として八億七千六十二万八千円を計上しました。児童福祉関係では、少子化対策として、すすく赤ちゃん券支給事業、放課後児童クラブや児童館の運営事業、子育て世帯就労応援事業、保育料の無償化事業を引き続き行い、さらに第三子目以降の保育料の無料化を実施し、多子出産できる環境づくりに取り組んでまいります。これらに関する予算として十二億四千百一十五千円を計上しました。

高齢福祉関係では、七十九歳以上の方を対象とした敬老の日記念事業など行い、介護保険関係では、揖斐広域連合より受託し全高齢者を対象とした介護予防・日常生活支援総合事業を実施してまいります。後期高齢者医療関係では、岐阜県後期高齢者医療広域連合への医療給付費等に係る負担金など、これらに関する予算として七億二千六百八十九万八千円を計上しました。

母子保健関係では、妊婦健診受診票に加え、出産後間もない産婦を対象に産婦健診受診票を交付し、安全な出産と産後の初期段階における母子に対する支援を強化してまいります。また、心身の不調や育児不安等を抱える母子を対象に助産師による心身のケアや育児サポート等を実施し、母子とその家族が健やかに生活できるよう支援を行ってまいります。これらに関する予算として二千百五十万三千円を計上しました。

成人保健関係では、がん患者の医療用補正具の購入費助成として乳房補正具も対象とすることにより、がん患者の治療と就労、社会参加等との両立を支援してまいります。これらに関する予算として二千五百九十二万八千円を計上しました。

予防事業関係では、任意予防接種のうち、インフルエンザについても新たに生後六か月から中学三年生を対象に接種にかかる費用を一部助成し、感染症予防を推進するとともに、経済的負担の軽減及び子育て支援体制を充実させてまいります。これらに関する予算として五千七百三十六万五千円を計上しました。

次に建設部において、農業振興関係では、茶業振興センターを活用し、茶業従事者の技術向上及び後継者育成、耕作放棄地対策を進めてまいります。また、担い手農家等への機械導入助成や、新規就農者支援を行ってまいります。さらに、農道や水路などの地域資源を守る環境保全を推進してまいります。これらに関する予算として一億四千五百五十一万六千円を計上しました。

林業振興関係では、池田の森地内で広葉樹の植栽等を引き続き行い、森林環境の整備を進めます。また、里山林整備事業として霞間ヶ溪登山道の改修や、ふれあい街道の伐採事業を実施し、これらに関する予算として四千二百九十一万六千円を計上しました。

観光振興関係では、霞間ヶ溪花畑の植栽整備をするほか、感染症対策を図ったドライブシアターや温泉ガストロノミーウォーキングを実施し、ふれあい街道を中心とした体験交流を進め、コロナ後の観光客の増加を目指します。また、池田町の魅力を生かした観光プロモーションビデオ映像制作に取り組み、観光情報を発信します。広域観光に於いては、「西美濃広域観光推進協議会」や「西美濃夢源回廊協議会」での取組を活用して、中京・関西方面などの旅行会社などへの観光PR活動も実施してまいります。これらに関する予算として八千三百三十二万三千円を計上しました。

農業農村整備関係では、県営事業において、農用施設の補修・改良を進め、県単独農業農村整備事業を活用し、かんがい排水、農道整備を進めてまいります。これら農地関係予算として一億五千二百九十七万四千円を計上しました。

治山林道関係では、池田明神線開設工事を引き続き実施するほか、昨年度に引き続き、県単治山事業の集落環境保全事業にて、治山流路を整備します。これらに関する予算として六千三百五十七万八千円を計上しました。

土木関係では、充実した生活基盤の整備を目指し、町道や河川の整備・維持管理を図ってまいります。社会資本整備総合交付金事業、公共施設適正管理推進事業、道路メンテナンス事業など、交付金並びに起債を活用し、社会基盤施設の長寿命化を進めてまいります。

地籍調査関係では、藤代Ⅰ地区の調査、及び藤代Ⅱ地区の事前調査を進めてまいります。

近年増え続ける空き家の対策として、空き家等対策計画を基に効果的な施策を展開し、危険空き家等の除却に補助制度を活用してまいります。これらに関する土木費予算として三億八千二百四万一千円を計上しました。

道の駅池田温泉関係では、開駅から約九年八ヶ月が経つ中、老朽化した施設の改修とともに、イメージアップを図るため大幅なりニューアル工事を行います。また、池田温泉や池田町内外の諸団体・機関との連携イベントの実施、各メディアやSNSなどを活用した様々な情報発信により、町の観光拠点、地域振興施設としての役割を充実させ、年間三十五万人の利用者数を目指します。これらに関する予算として五千七百五十九万四千円を計上しました。

次に教育委員会において、学校教育関係では、小中一貫した福祉教育及び外国語活動並びに中高連携したキャリア教育に取り組みます。昨年度、整備が完了した教育ICT環境、児童生徒一人一台パソコン・校内通信ネットワークを利用した授業について研修、実践に取り組みと共に、小学校の入学祝い金や中学生夢交付金制度を継続して実施し、子育て世代を支援します。

外国語活動推進事業として、外国語講師の派遣、英語活動支援員の配置、英語合宿を実施し、英語教育を推進します。また、小中学校に特別支援学級支援員や特別支援アシスタントを配置する特別支援教育支援事業・少人数学級支援事業を継続してまいります。

小学校の改修工事としては、老朽化した温知小学校体育館床修繕等を実施します。また、学校給食費については、小学校六年生及び中学校三年生の給食費無償化を継続すると共に、多子世帯学校給食費の無償化も継続し子育て世代を支援してまいります。これら学校教育に関する予算として五億四千九百八十七万円を計上しました。

生涯学習関係では、経年劣化の激しい養基公民館受電設備を更新し、安全な施設管理に努め、中央公民館や地区公民館等で二百九の講座・教室を開催して、町民の生涯学習振興を図ります。青少年関係では、青少年育成推進員・少年補導員等による、子どもたちの安心安全な育成を進めてまいります。

文化財保護関係では、郷土資料の収集、調査等を進めてまいります。これらに関する予算として、一億九百三十二万四千円を計上しました。

総合体育館では、アリーナLED照明取替工事を実施し、快適なスポーツ環境の整備を図ります。また、ねんりんピック岐阜二〇二一スポーツウエルネス吹矢交流大会等の開催により、誰もが生涯の各時期にわたって、それぞれの体力や年齢、目的に応じていつでもどこでもスポーツに親しみ、健康で活力に満ちた生涯スポーツ社会の実現を目指して取り組んでまいります。これらに関する予算として一億六千九百四十九万三千円を計上しました。

図書館では、図書館資料の充実、読書通帳を利用した読書普及活動、図書館利用の啓発促進事業を進めてまいります。これらに関連する予算として七千九百六十一万円を計上しました。

次に、国民健康保険特別会計についてご説明申し上げます。

業務内容としては、保険料率の決定、賦課・徴収等を行い、平成三十年度から国保運営の中心的な役割を担う県に納付金を納め、医療給付費等の支払業務や、生活習慣病対策である特定健康診査事業を実施してまいります。これらに関する予算として二十二億二百万円を計上しました。

次に、後期高齢者医療事業特別会計についてご説明申し上げます。

市町村の事務としては、岐阜県後期高齢者医療広域連合への負担金の納付や、保険料の徴収、各種申請・届け出の受付などの窓口業務を行ってまいります。保健事業につきましては、ぎふ・すこやか健診や、ぎ

ふ・さわやか口腔健診などを実施してまいります。これらに関する予算として三億円を計上しました。

次に、農業集落排水事業特別会計についてご説明申し上げます。

農業集落排水事業につきましては、七処理区が供用されており、生活環境の向上と公共用水域の水環境の再生・保全に寄与しております。これら処理施設の維持管理に関する予算として三億九千六百万円を計上しました。

次に、公共下水道事業特別会計についてご説明申し上げます。

公共下水道事業の池田処理区は、平成十五年四月から供用開始され令和二年度末には、五百九十五ヘクタールが整備され、進捗率は八十九・二%となります。本年度は、萩原地域及び本郷地域にて管渠布設整備を進めてまいります。また、令和三年一月末現在で接続率は約五十九・七%の状況であり、公共マスへの接続を積極的にお願ひし、接続率の向上に努めてまいります。池田浄化センターでは、平成三十年代から三ヶ年計画で進めてまいりました汚泥棟の建設、自家発電設備の整備が令和三年二月末に完成し、適正な維持管理や運営に心掛け、健全経営に努めてまいります。これらに関する予算として七億五千七百万円を計上しました。

次に、温泉施設特別会計についてご説明申し上げます。

池田温泉は、平成八年の本館開業以来、二十四年が経つ中、その泉質の良さから、数々のテレビ・雑誌などメディアで紹介され、東海だけでなく関西方面からも利用者が訪れる温泉として高評価を得てまいりました。しかしながら、令和三年度も引き続きコロナウイルス感染症の影響が想定される中、今まで以上に安心して安全な施設運営に配慮しつつ快適な空間の提供に努めるとともに、利用者数減を補う新たな取り組みとして温浴関連商品の開発・販売を積極的に進めて売上げ増を目指してまいります。また、昨年十月

に改定した入浴料金の効果が現れるのはもう少し先ではありますが、更なる接客サービスの向上に努め、年間利用者数三十五万人の目標達成と経営の安定化を目指してまいります。主な事業内容としましては、三年に一度の源泉ポンプの入替工事を行います。また、本館・新館周年記念イベントのほか、季節ごとのイベントなど工夫をこらしたソフト事業も実施してまいります。これらに関する予算として二億四千二百万円を計上しました。

次に、小水力発電事業特別会計についてご説明申し上げます。

小水力発電事業は、農業水利施設の持つ再生可能なエネルギーの有効活用と農業施設の維持管理費軽減と低炭素社会づくりに寄与するため、平成三十年四月より稼働し、三年を経過しましたが、今後も適切な維持管理に努め、効率的な施設利用を進めてまいります。これらに関する予算として八百万円を計上しました。

次に、水道事業会計についてご説明申し上げます。

水道事業は、将来にわたって安定的に事業の継続が必要不可欠なライフラインであるため、経営の効率化を進めつつ、安全、安心な水を供給するために、施設の維持管理、更新に努めてまいります。これらに関する予算として収益的収入に三億八千七百六十九万三千円、収益的支出に三億二千四百四万一千円、資本的収入に六億五千七百七万円、資本的支出に七億九千八百八十四万八千円をそれぞれ計上しました。

以上、議第十七号から議第二十四号まで一括提案申し上げます、令和三年度の町政に取り組む施政方針及び、一般会計・特別会計並びに企業会計予算の提案説明と致します。